

「高齢者疑似体験」

3年総合的な学習の時間



6月21日(火)・22日(木)の3年生の総合的な学習の時間に、東広島市社会福祉協議会の方々にお越しいただき、高齢者問題とは何が課題なのかを考えたり、実際に高齢者の方々の立場を体験したりする学習を通して「地域共生社会」について考えました。

～生徒の感想より～

- 高齢者疑似体験をしてみて、歩いたり、階段をのぼったり、おりたりすることが思ったより大変だということが分かりました。この体験を通して、高齢者の方にどう接したらいいのかを考えたり、自分が高齢者になった時のことを考えたりしました。
- 高齢者を体験する器具をつけると、とても不自由で、大変だと思った。高齢者の方にとって、どんなものが生活の妨げになるかを見つけて改善していこうと思った。学習したことを活かして、誰もが生活しやすいようにしていきたいです。
- 白内障のゴーグルをつけて前がよく見えなくなったとき、手を引いてもらうことがとてもありがたかったです。だから、手を引いてあげるなどのちょっとした気遣いで、高齢者の方はとても安心するということを感じました。